

会 議 録

会議名称	沼田市市民活動センター運営委員会 第7回会議	
開催日時	平成24年11月27日(火) 午後1時30分～午後2時40分	
出席者	宮崎委員長、林副委員長、倉澤委員、三河委員、上原委員、小林委員、角田委員、田辺委員 以上8名 (欠席：武井委員、千代田委員) 伊藤センター所長(生活課長)、石井協働推進係長、鈴木チーフ	
協議事項	(1) 24年度事業実績及び25年度事業計画について (2) 市民活動センターの運営方法について (3) その他	
配付資料	○ 平成24年度市民活動センター事業経過(資料1、別紙①・②) ○ 平成25年度市民活動センター事業計画(案)(資料2) ○ 各市民活動センターの運営状況等(資料3) ○ 第6回会議録	
審議状況	(1) 審議経過	○ 宮崎委員長あいさつの後、協議に入った。 ○ 事務局より協議事項を説明後、意見を聞いた。
	(2) 結論	○ 24年度事業経過及び25年度事業計画(案)について 24年度事業の途中経過と25年度計画(案)について説明、了承を得た。 ○ 市民活動センターの運営方法について 庁内推進研究会において、他市のセンターの運営状況や課題等を検討した結果、「現段階では、今まで通り「公営」で運営していくこととして、「民営」への移行については、引き続き検討していくこととする」となった。これから推進委員会に報告し、この後、推進委員会で検討し、市としての方向性がある程度決まっていく予定であることを説明し、了解を得る。 ○ その他 ・次期運営委員会の委員の応募状況について 各登録団体代表者宛に通知を出すとともにHPにも掲載し募集した結果、何件か問い合わせがあったことの説明。

主 な 意 見

○ 24 年度事業経過及び 25 年度事業計画(案)について

- ・ 出前講座は主にどんな内容が多いか？
- ・ 高齢者の団体からの依頼が多く、「高齢者筋力向上トレーニング」と「消費者被害にあわないために」の二つが人気で好評。
- ・ 講演会を 3 月開催予定。魅力ある講師、講座など希望や情報を聞かせてほしい。
- ・ インターネットで調べれば出てくるのではないか。問題は講師料。集まらないのに 10 万円払っても意味が無いということがある。
- ・ 高齢者や女性にうけるもの。社会的背景で何が一番必要か。
- ・ 毎年生涯学習フェスティバルで有名人の講演会をやる。たくさん集まるときと集まらないときもあった。各団体に動員をかけ 80% くらい集まればいい。関心があれば集まる。
- ・ 別紙 2 の相談・問い合わせ 57 件の内容は、どんなものが多いか。
- ・ 慰問に来てくれる団体の問い合わせや、補助金関係での相談が多かった。

○ 市民活動センターの運営方法について

- ・ 各市のセンター運営状況や現状の課題として考えられることなどを、庁内推進委員会研究会で検討した結果、「現段階では今まで通り公営で運営していくこととして、民営への移行については引き続き検討していくこととする」という結果になり、その結果を委員会に報告する予定。
- ・ 市民活動を活発にしようと立ち上げ 2 年経って協働に対する意識はどうか。例えば、ボランティア参加者は少なくなっているのではないかと感じている。市民協働を啓蒙するために作ったのだから、スピードアップして、どうやったら活発になるか、ターゲットを絞ってやるのも方法ではないか。
- ・ 市全体であらゆる団体があるが、例えば老人会などは入る人が少なくなっている。女性団体婦人会とか、地域には必要だからあるのだが、全体に高齢化していて社会的な大きな問題。催しには女性ばかりで男性が来ないということもある。
- ・ 全体的な背景もあり大きな課題。

○ その他

- ・ 次の運営委員会の委員公募について、年内には始められるよう事務を進めている。

◎2 年間の協力に感謝し、第 7 回会議を閉会とした。(14:40 終了)